

# AVIOM16/o-Y1 クイックマニュアル

AVIOM16/o-Y1 A-Netアウトプットカード（以下Y-1）は、16chの音声をA-Netに変換し出力します（MY16モード）。対応サンプリング周波数は、48kHzです。MY8モード、テストトーン出力、ステレオリンクスイッチを装備しています。

## ■インストール

Y1カードをヤマハデジタルミキシングコンソールの拡張I/Oスロットに装着します。（スロットに装着できるMYカードの枚数は限られています。詳しくは、ヤマハホームページ等で確認してください。）

ミキシングコンソールの電源を切り、念のため、電源ケーブルもコンセントから抜いておいてください。

I/Oスロットのカバーをはずし、ガイドに従ってY1カードをしっかりと差し込んで、ねじを締めて固定してください。

## ■DIP Switch

Y1カードには10コのコのDIPスイッチがあります。1-8のDIPスイッチはステレオリンクスイッチです。

9-10スイッチはモードを変更するスイッチです。（モードスイッチはコンソールの電源を入れる前に操作してください）

### ◆ステレオリンクスイッチ

1～8までのDIPスイッチはステレオリンクさせるためのスイッチです。DIPスイッチをON（down）にした時にチャンネルがペアになり、OFF(up)にするとチャンネルのリンクは外れます。

ステレオリンクスイッチの変更はいつでもできます。電源を切る必要はありません。

DIPスイッチ	ペアリングチャンネル	DIPスイッチ	ペアリングチャンネル
1	チャンネル1とチャンネル2	5	チャンネル9とチャンネル10
2	チャンネル3とチャンネル4	6	チャンネル11とチャンネル12
3	チャンネル5とチャンネル6	7	チャンネル13とチャンネル14
4	チャンネル7とチャンネル8	8	チャンネル15とチャンネル16

### ◆モードセレクトスイッチ

DIPスイッチの9と10はモードを変更する時に使用します。

**重要：Y1カードは、コンソールが立ち上がる時にのみ認識されます。**

そのためモードをチェンジする時はコンソールの電源をオフにしてDIPスイッチを変更し、リスタートして下さい。

### ◆MY16 Mode - スイッチ9：OFF (up)、 スイッチ10：ON(down)

16チャンネルの信号を送ることができます。コンソールのディスプレイには、MY16、a-dat等と表示されます。

工場出荷時にはMY16モードにセットされています。多くのコンソールは、このモードに対応します。

### ◆MY8 Mode - スイッチ9：OFF (up)、 スイッチ10：OFF(up)

8チャンネルのモードになります。PM1Dは、このモードにセットしてください。

### ◆テストMode - スイッチ9：ON (down)、 スイッチ10：ON(down)

テストモードです。1チャンネルから4チャンネルまでに、1kHz、Fs48kHzの正弦波を送ります。

AVIOMシステムのトラブルシューティングにお使い下さい。

テストモードを利用する時、予期せぬ音量を防ぐため、ヘッドフォン、スピーカーのボリュームに注意してください。

\*ヤマハコンソールの内部サンプリング周波数が48Kにセットされていることを確認してください。

\*トラブルシューティングで、Y1カードのテストモードを使い、接続されたAVIOM製品の1～4チャンネルでテスト信号を聞くことができれば、Y1カードは正常に動作しています。ヤマハコンソールのルーティングなどを確認してください。

テストモードを終了したら、コンソールの再起動が必要です。

ミキシングコンソールの電源を切り、DIPスイッチを希望のモードに切り替え、コンソールを再起動してください。

### ◆AVIOM Mode - スイッチ9：ON(down)、 スイッチ10：OFF(up)

現在、このモードはサポートされていません。16チャンネルモードで設定してください。